

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) NEW パワーブック 物理薬劑 学・製劑学	共著	平成 24 年 3 月 (第 2 版)	廣川書店	最新情報を網羅し、わかり易く解説した教科書 (全 483 頁) 共著者: 安藝初美、飯村菜穂子、伊 藤壯一、金尾義治、唐澤 健、北河修治、櫻井栄 一、芝田信人、田中哲郎、富田久夫、平山文 俊、森 信博、山下親正、吉川広之 担当部分: 「第 4 章 製劑材料と医薬品添加劑」 (p.361~p.378)、「第 7 章 医薬品開発と品質保 証」(p.451~p.465)を単著
2 (著書) 薬学生・薬劑師レジデントのた めの感染症学・抗菌薬治療テ キスト	共著	平成 27 年 2 月	じほう	感染症の専門薬劑師を目指す薬学生や薬劑師 ための感染症の知識、技能を基礎から臨床まで 網羅したテキスト(全 509 項) 共著書: 石井良和、 藤村 茂、前田真之他多数 担当部分: 「第 3 章 感染症治療薬」(p.293~ p.305)を共著
3 (学術論文) Modulated pharmacokinetics and increased small intestinal toxicity of methotrexate in bilirubin-treated rats	共著	平成 23 年 2 月	J. Pharm. Pharmacol. 63(2) pp.206~213	高ビリルビン血症で MRP2 機能抑制時には、メ トトレキサートの消化管内蓄積及び消化器毒性の 発現が増大する可能性を示唆した(8 頁)。 (横大路智治、森 信博、村上照夫) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
4 (学術論文)〔筆頭論文〕 Modulation in concentrative nucleoside transporters- mediated intestinal absorption of mizoribine, an immune- suppressing agent, in lipo- polysaccharide-treated rats	共著	平成 23 年 3 月	Pharmazie 66(3) pp.207~211	LPS 誘発胆汁うっ滞ラットを用い、ミゾリビン(核酸 トランスポーターCNT1 及び 2 基質)の消化管吸 収特性について検討した(5 頁)。 (森 信博、下向井唯希、横大路智治、石黒正 史、神尾佳弘、村上照夫) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
5 (学術論文)〔筆頭論文〕 Characterization of intestinal absorption of quinidine, a P-glycoprotein substrate, given as a powder in rats	共著	平成 24 年 5 月	Pharmazie 67(5) pp.384~387	キニジン吸収に及ぼす消化管内の pH や薬物濃 度、水溶液と粉末の投与形態、及び部位特異的 な P-gp 発現の影響について検討した(5 頁)。 (森 信博、岩元陽香、横大路智治、村上照夫) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
6 (学術論文)〔筆頭論文〕 Comparison of in vivo with in vitro pharmacokinetics of mercury between methylmercury chloride and methylmercury cysteine using rats and Caco2 cells	共著	平成 24 年 8 月	Archives of Envi- ronmental Conta- mination and Toxicology 63(4) pp.628~636	ラットにメチル水銀塩化合物及びメチル水銀のシス 테인体を静注・経口投与した後の血中濃度及 び血球移行性等を比較した(5 頁)。 (森信博、山元恵、塚田絵梨、横大路智治、松村 菜穂子、佐々木眞敬、村上照夫) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
7 (学術論文) Effect of genistein, a natural soy isoflavone, on pharmaco- kinetics and intestinal toxicity of irinotecan hydrochloride in	共著	平成 25 年 1 月	J. Pharm. Pharmacol. 65(1) pp.280~291	ラットにおいてゲニステイン処置により MRP2 機 能を抑制し、CPT-11 でみられる遅発性の下痢を 抑制できる可能性を示した(12 頁)。 (横大路智治、川邊美宏、森信博、村上照夫) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
8 (学術論文) Interaction of hydrophobic components in female urine before and after childbirth with P-glycoprotein in vitro.	共著	平成 26 年 6 月	Pharmazie 69(6) pp.430~436	内因性の物質として妊婦尿中の脂溶性抽出物を 用いた検討をおこない、ABC トランスポーターに 影響を及ぼす要因やその程度について明らか にした(7 頁)。 (横大路智治、亀田祐希、内海美咲、森 信博、 村上照夫) 担当部分: 共同研究につき本人担当 部分抽出不可能。
その他、学術論文: 31 報、総説: 1 報 学会発表: 国内 18 回、海外 3 回				